

Ⅱ 1960年5月23日チリー地震津波被害

1960年（昭和35年）5月23日4時11分（日本時間）南米チリー中部沖北緯37°5′～38°、東経73°～73°5′に発生した地震（M8.5）は津波を惹き起し、太平洋を斜めに横断し約23時間半を費して（時速約730km）翌24日早朝霧多布などの日本の太平洋岸に襲来、そのため多大の被害が発生した。

下図は特に被害の大きかった浜中村地域別家屋被害地域の図表である。

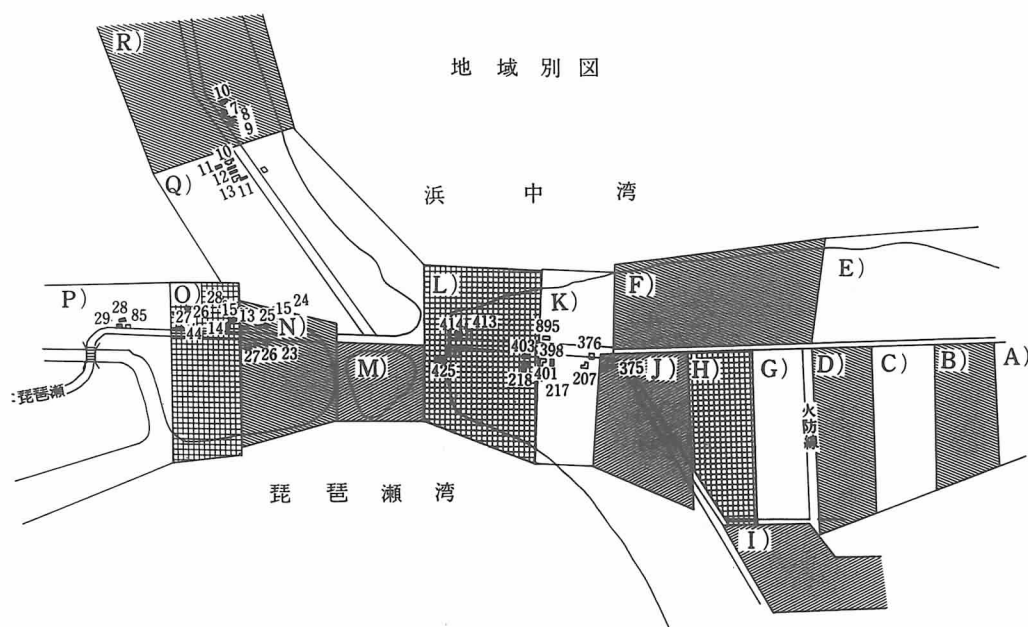
津波の規模の大きさは、そのまま周期及び継続時間にも影響し、極めて長いものとなり、25日、26日と津波は継続し、日本近海に起る地震津波とは相当様子を異にしていた点が注目された。

然し乍ら、この未曾有の大津波の割には死者、行方不明者、負傷者の数が少なかったのは不幸中の幸であった。これはハワイの津波観測所からの通報で半信半疑乍ら津波の来襲の危険を知り、時間的に余裕があった事と昭和27年3月4日の十勝沖地震による津波被害地と殆ど同一地域であったので、津波に対する貴い経験や教訓が活かされ、避難等の適切な処置がとられた事に依るもので特筆されるべきである。

追記 昭和60年3月4日（日本時間）再びチリー地震発生（M7.4）弱い津波が日本北部に到達した。今回は前回より約1時間～1時間半長くかかって太平洋を斜め横断して居る。

参考文献

- ・昭和35年5月24日チリ地震津波被害調査概報（北海道地域分）日本建築学会北海道支部
- ・浜中村チリ地震津波被害調査報告書（建築物の被害について）北海道立寒地建築研究所



1960年 チリー地震津波被害総目次

1. 浜中村地区

浜中村	スライドNo. 1- 1 ~1-102	101枚
-----	---------------------	------

2. 霧多布市街地区

霧多布市街	スライドNo. 2- 1 ~2- 76	76枚
-------	---------------------	-----

3. 暮帰別・浜中・榑町

暮帰別・浜中・榑町	スライドNo. 3- 1 ~3- 46	45枚
-----------	---------------------	-----

4. 新川地区

新川	スライドNo. 4- 1 ~4- 33	31枚
----	---------------------	-----

5. 琵琶瀬・浜の中地区

琵琶瀬・浜の中	スライドNo. 5- 1 ~5- 14	14枚
---------	---------------------	-----

6. その他の地区

	スライドNo. 6- 1 ~6- 4	4枚
--	--------------------	----

1. 浜中村地区

A : 提供者 B : 撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
1-1		厚岸郡浜中村被害概要図	1960	A 酒井良男
1-2	浜中村	A 地域	1960	A ♫
1-3	〃	B 地域	1960	A ♫
1-4	〃	C D E 地域	1960	A ♫
1-5	〃	D E 地域	1960	A ♫
1-6	〃	E 地域 海岸	1960	A ♫
1-7	〃		1960	A ♫
1-8	〃	E F G 地域	1960	A ♫
1-9	〃	F 地域	1960	A ♫
1-10	〃	倉庫物置の被害	1960	A ♫
1-11	〃		1960	A ♫
1-12	〃	丸太の山	1960	A ♫
1-13	〃		1960	A ♫
1-14	〃	海岸付近	1960	A ♫
1-15	〃		1960	A ♫
1-16	〃		1960	A ♫
1-17	〃		1960	A ♫
1-18	〃		1960	A ♫
1-19	〃		1960	A ♫
1-20	〃	甚だしい破壊	1960	A ♫
1-21	〃	木杭上の家流される	1960	A ♫
1-22	〃		1960	A ♫
1-23	〃	F H J 地域 舟上陸 水たまり	1960	A ♫
1-24	〃	F J 地域 学校なんとか助かる 基礎と土台が緊結されていた	1960	A ♫
1-25	〃	G 地域 学校付近の家屋流される	1960	A ♫
1-26	〃	家屋被害	1960	A ♫
1-27	〃	舟、上陸 家屋屋根のみ残る	1960	A ♫
1-28	〃	学校なんとか残る	1960	A ♫
1-29	〃	家残る 学校渡り廊下残る	1960	A ♫
1-30	〃	学校	1960	A ♫
1-31	〃	学校付近	1960	A ♫
1-32	〃	学校また道路に沿って津波走り去る	1960	A ♫
1-33	〃		1960	A ♫
1-34	〃	G D 地域 津波の上陸後の激流抵抗の少ない道路上を走った為被害割合少なし	1960	A ♫

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
1-35	浜中村	F G 地域 割合被害なし	1960	A 酒井良男
1-36	〃	H G 地域 遠望	1960	A 〃
1-37	〃	〃	1960	A 〃
1-38	〃	〃	1960	A 〃
1-39	〃	舟流されたもの	1960	A 〃
1-40	〃	H 地域 遠望	1960	A 〃
1-41	〃	家屋の流失	1960	A 〃
1-42	〃	流失寸前	1960	A 〃
1-43	〃	H J 地域 津波に襲われた家々	1960	A 〃
1-44	〃	残っているものもあるが建物無残	1960	A 〃
1-45	〃	J 地域 高台から被害を眺める	1960	A 〃
1-46	〃	なんとか残った家	1960	A 〃
1-47	〃	土間コンクリートを残して家流失	1960	A 〃
1-48	〃	なんとか残った杭、土台の補強	1960	A 〃
1-49	〃	流失部	1960	A 〃
1-50	〃	家屋流失避難先	1960	A 〃
1-51	〃	J F 地域 津波の通路	1960	A 〃
1-52	〃	J K 地域 遠望	1960	A 〃
1-53	〃	〃	1960	A 〃
1-54	〃	J K 地域 遠望	1960	A 〃
1-55	〃		1960	A 〃
1-56	〃	未だ津波の跡が残っている	1960	A 〃
1-57	〃	K 地域 流木 その他	1960	A 〃
1-58	〃	K L 地域 津波の通路足跡	1960	A 〃
1-59	〃	K L M 地域 遠望	1960	A 〃
1-60	〃	〃 点々と家が残っている	1960	A 〃
1-61	〃	〃 海岸線一望	1960	A 〃
1-62	〃	〃 〃	1960	A 〃
1-63	〃	〃 〃 低い所は水たまり	1960	A 〃
1-64	〃	〃 〃	1960	A 〃
1-66	〃	L 地域 家屋倒壊	1960	A 〃
1-67	〃	〃	1960	A 〃
1-69	〃	家はなんとか残ったが	1960	A 〃
1-70	〃	L 地域 霧多布への橋流失	1960	A 〃
1-71	〃	〃	1960	A 〃
1-72	〃	M 地域 流失橋の残骸の一部	1960	A 〃
1-73	〃	〃	1960	A 〃

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
1-68	浜中村	L 地域 霧多布への渡し	1960	A 酒井良男
1-74	〃	M N 地域 〃 渡しを通す網(頼り綱)	1960	A 〃
1-75	〃	橋の残骸	1960	A 〃
1-76	〃	対岸の一部	1960	A 〃
1-77	〃	Q 地域 橋の取付き付近	1960	A 〃
1-78	〃	〃	1960	A 〃
1-79	〃	津波の往復ビンタを受けた処	1960	A 〃
1-80	〃	Q L 地域 渡し舟	1960	A 〃
1-81	〃	Q R 地域 番家の被害流失物	1960	A 〃
1-82	〃	村民のバス	1960	A 〃
1-83	〃	電柱	1960	A 〃
1-84	〃	〃	1960	A 〃
1-85	〃	地域不明 激流	1960	A 〃
1-86	〃	海岸沿い家屋残っている	1960	A 〃
1-87	浜中村、その他	家流失	1960	A 〃
1-88	〃		1960	A 〃
1-89	〃		1960	A 〃
1-90	〃	高台に避難する場所	1960	A 〃
1-91	〃	〃	1960	A 〃
1-92	〃	番屋などの被害	1960	A 〃
1-93	〃	流失	1960	A 〃
1-94	〃	〃	1960	A 〃
1-95	〃	〃	1960	A 〃
1-96	〃	番屋など	1960	A 〃
1-97	〃	流失	1960	A 〃
1-98	〃	〃	1960	A 〃
1-99	〃	海岸番屋などあり	1960	A 〃
1-100	〃	海岸遠望	1960	A 〃
1-101	〃	高台	1960	A 〃
1-102	〃	海岸	1960	A 〃

2. 霧多布市街地区

A : 提供者 B : 撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
2-1	霧多布市街地区		1960	A 酒井良男
2-2	〃	寄せた写真	1960	A 〃
2-3	〃	役場	1960	A 〃
2-4	〃	難民 ふとん 受取り	1960	A 〃
2-5	〃		1960	A 〃
2-6	〃	残った家	1960	A 〃
2-7	〃	壊れた家	1960	A 〃
2-8	〃	対岸合わせた写真	1960	A 〃
2-9	〃	津波大丈夫(学校)	1960	A 〃
2-10	〃	学校 津波は窓の下部を越えて通過	1960	A 〃
2-11	〃	〃 部分	1960	A 〃
2-12	〃	〃 布基礎の一部津波にえぐられた	1960	A 〃
2-13	〃	舟や屋根の流失物	1960	A 〃
2-14	〃	物置被害	1960	A 〃
2-15	〃	〃	1960	A 〃
2-16	〃	便所かな? 残る	1960	A 〃
2-17	〃	住宅	1960	A 〃
2-18	〃	内部	1960	A 〃
2-19	〃	住宅群	1960	A 〃
2-20	〃	〃	1960	A 〃
2-21	〃	跡始末	1960	A 〃
2-22	〃	家屋 确实	1960	A 〃
2-23	〃	内部 床	1960	A 〃
2-24	〃	流失	1960	A 〃
2-25	〃	〃	1960	A 〃
2-26	〃	倒壊	1960	A 〃
2-27	〃	〃	1960	A 〃
2-28	〃	〃	1960	A 〃
2-29	〃	〃	1960	A 〃
2-30	〃	〃	1960	A 〃
2-31	〃	一般状況	1960	A 〃
2-32	〃	残った家	1960	A 〃
2-33	〃	浮上、土、波でえぐられる	1960	A 〃
2-34	〃	〃	1960	A 〃
2-35	〃	被害の一パターン	1960	A 〃
2-36	〃	〃	1960	A 〃

スライド 番号	被災地	説明	備考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
2-37	霧多布市街地区	被害のパターン	1960	A 酒井良男
2-38	〃	布基礎で助かる	1960	A 〃
2-39	〃	小屋組の被害(向き不明)	1960	A 〃
2-40	〃	〃	1960	A 〃
2-41	〃	〃	1960	A 〃
2-42	〃	なんとか立ってる	1960	A 〃
2-43	〃	〃	1960	A 〃
2-44	〃	破壊の一パターン	1960	A 〃
2-45	〃	舟も上陸	1960	A 〃
2-46	〃	小屋(柱の一部倒れる)	1960	A 〃
2-47	〃	なんとか残った	1960	A 〃
2-48	〃	舟など家に当たる	1960	A 〃
2-49	〃	被害	1960	A 〃
2-50	〃	〃	1960	A 〃
2-51	〃	〃	1960	A 〃
2-52	〃	〃	1960	A 〃
2-53	〃	〃	1960	A 〃
2-54	〃	〃	1960	A 〃
2-55	〃	浮上して一回転	1960	A 〃
2-56	〃	〃 反対側より見る	1960	A 〃
2-57	〃		1960	A 〃
2-58	〃	物置	1960	A 〃
2-59	〃	ベシャンコ 小屋組のみ残る	1960	A 〃
2-60	〃	〃	1960	A 〃
2-61	〃	全景	1960	A 〃
2-62	〃	津波の引くとき	1960	A 〃
2-63	〃	〃 がよせるとき	1960	A 〃
2-64	〃	津波の去った跡	1960	A 〃
2-65	〃	半鐘と番屋	1960	A 〃
2-66	〃	全景	1960	A 〃
2-67	〃	津波の被害の跡も生々しい霧多布市街	1960	A 〃
2-68	〃	〃	1960	A 〃
2-69	〃	波の寄せるところ	1960	A 〃
2-70	〃	全景	1960	A 〃
2-71	〃	〃	1960	A 〃
2-72	〃	霧多布と琵琶瀬が切れた	1960	A 〃
2-73	〃	〃	1960	A 読売新聞

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
2-74	霧多布市街地区	霧多布と琵琶瀬が切れた	1960	A 読売新聞
2-75	〃	〃	1960	A 〃
2-76	〃	〃 橋も落ちた	1960	A 〃

3. 暮帰別・浜中・榊町地区

A：提供者 B：撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
3-1	暮帰別・浜中・榊町	遠望	1960	A 酒井良男
3-2	〃	津波の跡	1960	A 〃
3-3	〃	流失物と遠望	1960	A 〃
3-4	〃	遠望	1960	A 〃
3-5	〃	屋根のみ	1960	A 〃
3-6	〃	家は流されミシンのみ残る	1960	A 〃
3-7	〃	なんとか残った民家	1960	A 〃
3-8	〃	家の中	1960	A 〃
3-9	〃	〃	1960	A 〃
3-10	〃	内部大変	1960	A 〃
3-11	〃	民家流失をまぬがれる	1960	A 〃
3-12	〃	土台基礎等えぐられる	1960	A 〃
3-14	〃	家屋倒壊流失寸前	1960	A 〃
3-15	〃	なんとか流失まぬがれる 教訓 ・地盤と基礎・建物をしっかり固定し剛構 造にする ・又は床下のみ津波が通り抜け易くする	1960	A 〃
3-16	〃	〃	1960	A 〃
3-17	〃	内部	1960	A 〃
3-18	〃	骨組のみ残る	1960	A 〃
3-19	〃	〃	1960	A 〃
3-20	〃	基礎・柱流失	1960	A 〃
3-21	〃	〃	1960	A 〃
3-22	〃	〃	1960	A 〃
3-23	〃	柱のみ残る 上部流失	1960	A 〃
3-24	〃	全景	1960	A 〃
3-25	〃	柱一部流失	1960	A 〃
3-26	〃	流失まぬがる } がいずれも使いものにならぬ	1960	A 〃

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
3-27	暮帰別・浜中・榑町	流失まぬがるが使いものにならぬ	1960	A 酒井良男
3-28	〃	流失をまぬがれてもあとが大変	1960	A 〃
3-29	〃	〃	1960	A 〃
3-30	〃	〃 ややましか(何故)	1960	A 〃
3-31	〃	構造 ややましか	1960	A 〃
3-32	〃	流失流着物	1960	A 〃
3-33	〃	ベシヤンコ 川の付近被害大(流速大、水位大による)	1960	A 〃
3-34	〃	外観	1960	A 〃
3-35	〃	〃	1960	A 〃
3-36	〃	〃 一棟残る	1960	A 〃
3-37	〃	〃	1960	A 〃
3-38	〃	〃	1960	A 〃
3-39	〃	〃	1960	A 〃
3-40	〃	杭から土台外れる	1960	A 〃
3-41	〃	何とか残る	1960	A 〃
3-42	〃	〃	1960	A 〃
3-43	〃	内部	1960	A 〃
3-44	〃	何とか残った家屋群	1960	A 〃
3-45	〃	〃	1960	A 〃
3-46	〃	残ったが?(大変)	1960	A 〃

4. 新川地区

A: 提供者 B: 撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
4-1	新川地区	遠望	1960	A 酒井良男
4-2	〃	流失寸前	1960	A 〃
4-3	〃	流失物と家屋	1960	A 〃
4-4	〃	電柱折損	1960	A 〃
4-6	〃	流失舟	1960	A 〃
4-7	〃	家屋破壊 流失物の衝突による破損も?	1960	A 〃
4-8	〃	〃	1960	A 〃
4-9	〃	〃	1960	A 〃
4-10	〃	浮上顛倒	1960	A 〃
4-11	〃	破壊	1960	A 〃

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
4-12	新川地区	破壊	1960	A 酒井良男
4-13	〃	地盤もかなり流失	1960	A 〃
4-14	〃	家屋への流失物の衝突	1960	A 〃
4-15	〃	〃	1960	A 〃
4-16	〃	舟、上陸	1960	A 〃
4-17	〃	一部 削られる	1960	A 〃
4-18	〃	地盤流失	1960	A 〃
4-19	〃	建物群	1960	A 〃
4-20	〃	〃	1960	A 〃
4-21	〃	〃	1960	A 〃
4-22	〃	コンクリート電柱折損	1960	A 〃
4-23	〃	〃	1960	A 〃
4-24	〃	流失まぬがれる	1960	A 〃
4-25	〃	畜舎	1960	A 〃
4-27	〃	他の角度から畜舎	1960	A 〃
4-28	〃	残った建物	1960	A 〃
4-29	〃	蓄舎(馬)破壊	1960	A 〃
4-30	〃	牧場	1960	A 〃
4-31	〃	流失物	1960	A 〃
4-32	〃	大変な量の流失物	1960	A 〃
4-33	〃	遠望	1960	A 〃

5. 琵琶湖・浜中地区

A：提供者 B：撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
5-1	琵琶瀬湾	遠望	1960	A 酒井良男
5-2	〃	〃	1960	A 〃
5-4	〃	〃	1960	A 〃
5-6	〃	〃	1960	A 〃
5-7	〃	〃	1960	A 〃
5-8	〃	〃	1960	A 〃
5-10	〃	〃	1960	A 〃
5-11	〃	〃	1960	A 〃
5-12	〃	残った家屋	1960	A 〃
5-13	〃	家屋群	1960	A 読売新聞

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
5-14	浜中(琵琶瀬)	遠望	1960	A 北海道新聞

6. その他の地区

A : 提供者 B : 撮影者

スライド 番 号	被 災 地	説 明	備 考	
			撮影年月日	提供者・撮影者
6-1	釧路	釧路支庁災害対策浜中支部	1960	A 酒井良男
6-2	〃	釧路幣舞橋に打ち砕かれた漁船と流木	1960	A 毎日新聞
6-3	湯沸岬	つけ根をさらわれて、孤立している霧多布と湯沸岬	1960	A 北海道新聞
6-4	〃	日本補鯨	1960	A 朝日新聞